

浜松観光ボランティアガイドの会

肴町に伝わる「浜松地域遺産」講演会

10 月 25 日(火)14 時から南部協働センターにおいて当会の「どうする家康」プロジェクトチーム主催で浜松地域遺産説明会が参加者数(会員 55 名)で開かれました。浜松地域遺産とは従来の指定文化財や国登録文化財になっていないもので、市内の各地域に文化財として伝えられているものを浜松市が認定し、緩やかな保護や市民協働での活用を期する制度です。



講演会の様子

まず、鈴木利雄会長から浜松・浜名湖ツーリズムビューローに依頼された駅から浜松城までの徒歩コースが、肴町通りを含むコースに決定されたことにより、今日は肴町の地域遺産について学び、ガイド活動に活かしてほしいとのお話がありました。

続いて、肴町発展会の桑原強会長より「肴町は肴町通りを中心にして 130 の個人商店が商売をしている地域。商いの町の心の拠りどころである大安寺では酉の市が開かれる日の夕方からお隣の林糰製造所の甘酒が振る舞われます。また、伊東商店では鳥羽式鰹節削り機の刃を交換し研ぎ直しして 70 年たった今も毎朝市内の和食店、そば店に削りたての鰹節を提供しています。是非お客様

に足を運んで肴町のおいしい匂いを嗅いでいただきたい」とのお話をいただきました。

この後、浜松城天守閣 2 階に発掘されたとっくりが展示されている 320 年の老舗・間瀬商店の地域遺産から説明が始まりました。12 代目栄一郎氏が当時のモダンな西洋文化を取り入れたいと皇居や帝国ホテルを建てた竹中工務店に依頼して同社ビルを昭和 2 年に建築。浜松の中心街は第二次世界大戦でほとんどの建物を焼失してしまいましたが、地下室の社長室は被災を免れ、暖炉、ステンドグラス、シャンデリアなど浜松きっての老舗の風格を感じさせる空間が残っています。

松作商店は記録では承応元年から浜松に居住、長く鰹節や砂糖を商っていたそうです。空襲でも焼け残った金庫は雲母が塗られた大正初期製造のものと思われ、明治時代の国鉄の荷札は東京日本橋から鰹節を送った時の記録が手書きで書かれている貴重な遺産です。

林糰(こうじ)製造所は明治時代の蔵と糰の行商に使った薄い板の桶が遺産です。初代が知多半島から間瀬商店の杜氏としてよばれ来浜。度重なる大火や空襲の中でも糰を守りきった蔵は壁が厚く、地震などでひびが入ってもすぐ補修して火を呼び込まないようにしてこられたそうです。

不二丘は昭和 30 年創業。「ガチャマン景気」で社用族の宴会が毎晩行われた 2 階大広間と宴会で使った三味線が遺産です。当時は芸者さんから沢山お年玉をもらったお話を聞かせていただきました。

三米商店は、豊橋のサンヨネと同系累で、海産物問屋として大正 8 年に開業しました。昭和 31 年に静岡銀行と同じものをと、杉浦組に依頼し建てた鉄筋コンクリートの本店ビルが遺産です。分厚い壁と塩と水に強いタイル張りの内壁は音響が素晴らしく、音楽イベントや各種講座に活用されています。

枳形は「天ぶらの枳形」で創業し割烹旅館、日本料理と形を変えてきました。遺産は先々代が疎開する際に地中に埋めて残した井(どんぶり)と戦前に着用していた家紋の刺繍された半てんです。

山口屋寿司店は初代が 38 歳の時明治維新だったので幕末から続いている技法となる「かまど炊き」が遺産です。薪で炊く米は一粒一粒が主張して、硬いが芯まで火が通ったシャリに仕上がるそうです。

舟いちは大正 13 年創業の和食料理店で、昭和 26 年にお客様宅で行われた婚礼の献立(巻物)と岡本一平の掛け軸が遺産です。本当のお大尽は遊びも一流で、画家をひと月ほど逗留させて好きなだけ絵を描かせました。一平も呼ばれたその一人で啓蟄(けいちつ)の題材で「再会の喜び」の軸を残しました。

どの遺産も度重なる大火や戦禍、また経済不況の波の中、代々の店主が連綿とこつこつと、真面目に営みを続けてきた遺産です。

広報部 前原福子(西ブロック)

同行ガイド 東小学校「浜松城と徳川家康」

10月11日(火)、9時30分に＜元城町東照宮・引間城跡＞に集合、戸塚事業部長から引間城・浜松城と家康公との関係、明治維新後に家康公を祀るために井上延陵(えんりょう)が創建した東照宮について説明をしました。

参加した59人の生徒たちは4グループに分かれ、それぞれ2名の事業部員が引率して出発、敵の進入を阻むため作られたクランク状の道路になっている＜下垂口＞で、説明板をみんなで読みながら確認。浜松城の西側石垣と天竜川河岸段丘の城下町との高低差と歴史を感じる境の小道を歩きました。瓦門跡を通り市役所の前で一呼吸、浜松市役所の設立経緯等を熱心に聞きながら、旧元城小学校(大河ドラマ館建設中)の間を通り＜鉄門跡＞へ。鉄門の位置表示錐を探して歩いてもらいましたがその大きさに感動していました。＜鎧掛けの松＞から＜馬冷やしの池＞を見聞。浜松城公園内では市民の木＜プラタナス＞の3本の内の1本を見て、昭和20年の戦火を生き抜いてきた経緯を聞き、困難から立ち上がった浜松市民の希望と勇気を感じていただいたものと思います。＜埋門(うずみもん)・搦手門ともいう＞跡付近にある説明板を見ながら石垣



東照宮前で全体説明

折石垣、鉢巻き石垣等の特徴を学びました。

現在外装改修工事中で天守閣全体は望めない天守広場で、国宝の城・井戸がある城各5城をクイズ形式で勉強しました。この後生徒たちは＜天守閣＞組と＜天守門、富士見櫓＞組の2コースに分かれ15分ずつ交代で見学、天守閣では家康公愛用の甲冑(レプリカ)、リアルな家康公像、地下の井戸等に関心が高かったようです。

まだ歴史教育が本格化していない4年生では少々難しかったのではというコメントも聞かれましたが、楽しく学習ができたのではないかと思います。富士見櫓からは富士山がくっきり望め、長袖の制服では少し汗ばむ程の秋晴れの下でのガイドでしたが、全ての見学が終わり11時30分に南エントランスで解散しました。事業部の皆さんお疲れ様でした。



若き家康公銅像の前でおさらい

広報部 植田善和(北ブロック)

南ブロック研修会 おとなでも楽しめる“みらい〜ら”訪問

9月27日(火)、南ブロックにて浜松科学館「みらい〜ら」を訪問、15名が参加しました。2019年秋にリニューアルオープンしたこちらの科学館もコロナ影響で閉館を度々余儀なくされ、やっと最近稼働した感じとのことですが、リニューアルに伴い全国から集まった科学愛好家スタッフの意見も取り入れ、生まれ変わっていました。



工作室にて質疑応答

るそうで、この日は回廊から大きなシャボン玉が舞っている姿が見えました。

2階の産業ゾーンでは浜松が誇る車・楽器・光等の数々の展示物に実際に手に触れることができ、休日には列のできるほどの人気だそうです。ノーベル賞受賞の天野浩名誉館長のLEDコーナーも興味深く、入り口には誰でも入れる喫茶コーナーがあり沢山の科学書籍を無料で閲覧でき科学に親しむことができます。

私は、プラネタリウムで紹介された宇宙の旅構想説明、宇宙エレベーターの疑似体験が楽しかったです。最後に質疑応答がありましたが、この工作室では身近にある材料を使って科学に親しむイベントが開催されているそうです。駅近く大人でも十分に楽しめる新しい科学館を駅インフォメーションセンターで更に案内していきたいと思います。

広報部 金原里枝(南ブロック)

チーフエデュケーターの上野さんに13時より3時間ご案内いただきましたが、あっという間でした。まずは入り口付近に展示の凹凸ある浜松市地形に関心が寄せられました。最大3万倍拡大できるという電子顕微鏡は細部までの観察ができ、小さな赤ちゃん昆虫でも既にちゃんと形になっていて皆でびっくりしました。館の中心部にある吹き抜け構造のみらい〜らステージでは日替わりでサイエンスショーが催されている



人気の飛ぶバッタ

北ブロック研修会 “徳川家歴代将軍名宝展” 見学

北ブロックでは10月18日(火)に静岡市の久能山東照宮博物館への研修を実施しました。東照宮博物館にて家康公から慶喜公までの徳川歴代15将軍の甲冑を展示する特別展があると聞き、急な募集のため都合が合わなかった方も多くいらっしゃいましたが、総勢13名で貸切バスに乗って研修に行っていました。

出発前は全員、検温、消毒、ワクチン接種とコロナ陰性の確認を行い、コロナ対策も万全で！東照宮へ行く前に来年1月グランドオープン予定の静岡市歴史博物館にも立寄りしました。まだ展示の一部しか見ることはできませんでしたが、金沢21世紀美術館と同じ建築家の設計による建物は博物館というよりも美術館の方がふさわしいスタイリッシュな建物でした。二ノ丸堀を挟んで反対側にある駿府城巽櫓とは全く統一感がなく…ちょっとおしゃれ過ぎではないでしょうか？

バスはその後ロープウェイ駅がある日本平山頂へ。いざ東照宮！の前に日本平山頂のレストランで腹ごしらえ。そして肅々とお土産の調達を済ませました。準備万端整ったところでいよいよ東照宮へ。日本平山頂駅からロープウェイ約5分で久能山山麓駅へ。ここまで来るのに下から歩くと1,000段以上の



久能山東照宮博物館前にて参加者一同

の階段がありますが、これを東照宮の皆さんは毎日歩いて通っておられるとのこと。健脚じゃないと勤まらないですね。博物館は2階建てで1階は主に家康公ゆかりの品々や刀剣類が展示されていました。犀ヶ崖資料館にレプリカがある「洋時計」の本物も。そして今回の本命の甲冑たちは2階に…入っていくと言いました見慣れた金陀美具足が。浜松城でレプリカは毎度目にしていますが本物はやはり違う！(ような気がします)。残念ながらこの日は歯朶具足

の方には展示お休みとのことでしたが、家康公から慶喜公まで、歴代15将軍すべての甲冑がずらりと展示される様は壮観でした。元々は江戸城内で保管されていたそうですが、江戸開城とともに静岡へ移され、最終的に久能山東照宮へ奉納され今に至っているとのこと。そんな歴史ある歴代将軍の甲冑たちですが、歯朶具足を模したものは他にもあり、ごてごてした飾り付きの兜も多いのですが、シンプルなデザインで斬新なカラーの金陀美具足と似ている甲冑は他にはありませんでした。

博物館を出ようというときになって雨が降り出し、雨中での東照宮参拝となりました。ここに来るまでのバス車中でも、「家康公のご遺骸は久能山にあるのか、日光にあるのか」という話題で盛り上がっていましたが、果たして「神廟」の前に立つと…。真相は永遠に数の中かもしれませんが、やはり静岡県民としては、こっちにいてほしいなと思う次第です。

帰りの車内では北部公民館まつり用に撮影した紹介ビデオを鑑賞し、感想を言い合いながら帰路につきました。折悪しく富士山には一度もお目にかけられませんが、大変楽しく、勉強になる貴重な体験をさせていただきました。



家康公神廟の前にて記念撮影

北ブロック 都築厚好

“はままつ案内人” 新人養成講座 受講者募集

今年度の当会の新人養成講座の募集が始まりました。来年1月よりNHK大河ドラマ「どうする家康」が放映されます。大河ドラマ館も来年1月22日にプレオープン、3月18日にグランドオープンが決定し、多くの観光客が訪れるのを待っています。このような背景の中、当会では例年より多くのボランティアガイド仲間の募集活動を行います。

講座は来年1月中旬から2月にかけて全6回、可美公園総合センターの研修室で行います。

会員一人ひとりが知人・友人を誘いあって、ボランティアガイド仲間を増やしましょう。また、多くの人に浜松の魅力を発信することで、素晴らしい出会いと感動、わくわく感を私たちと共感してもらいましょう。

“はままつ案内人” 新人養成講座

受講者募集

魅力いっぱい「はままつ」のいしを学んでみませんか！
そして「はままつ案内人」になって、たくさんの人に伝えませんか！

【講座期間】 令和5年1月16日(日)9時5分～午後2時20分まで 全6回
【1回】 浜松観光ボランティアガイド会 会館
【2回】 浜松市文化財 堀田屋敷(1月23日のみ)
【3回】 城入奥女(堀田屋敷)後、堀田屋敷の石に学ぶ(2月6日のみ)
【4回】 2月6日 堀田屋敷
【5回】 2月13日 堀田屋敷
【6回】 2月20日 堀田屋敷

【講座会場】 可美公園総合センター 研修室
浜松市南区城東町920-2 TEL 053-449-1155
※2月19日のみ 堀田屋敷 浜松城周辺
【申込〆切】 令和4年12月28日

◆講座費用 ◆ 下記の1～3いずれかの方法で申込していただきます。

回	月	日	講座内容	講座時間
1	1月	16日	開校説明、ガイド体験、ガイドのマナー	10:00～12:00
2	2月	23日	浜松の歴史と文化(講師 堀田屋敷)	
3	2月	27日	浜松城の歴史と文化(講師 堀田屋敷)	
4	2月	27日	堀田屋敷の歴史と文化(講師 堀田屋敷)	
5	2月	27日	堀田屋敷の歴史と文化(講師 堀田屋敷)	
6	2月	27日	堀田屋敷の歴史と文化(講師 堀田屋敷)	

◆申込方法 ◆ 下記1～3いずれかの方法で申込していただきます。

- インターネット 参加申込フォーム
https://forms.gle/9PnTz2W9vmsGub6
- e-mail mail@hama-avp.jp (浜松観光ボランティアガイド会)
- 郵送 (講座の用紙に記入して、郵送してください)

◆お問い合わせ先 ◆ TEL 053-456-1303 (担当 西村) FAX 053-456-1304
E-mail mail@hama-avp.jp

主催 浜松観光ボランティアガイドの会 共催 浜松市 遠鉄グループ

西ブロック研修会 “市営グラウンド周辺ミニウォーク”

10月18日(火)午後、西ブロック月例会終了後に西ブロック会員の親睦と勉強を兼ねて約2時間のミニウォーキングを実施しました。参加者は12名でした。

9月には「家康の散歩道」の周辺であまり訪れない史跡を「隠れ家康の散歩道」として歩きました。

今回は、浜松市営グラウンドを起点に飯尾ブロック長のガイドで付近の史跡を巡りました。白華寺の江間加賀守墓碑、大菩薩山及びその一画にあった欠下城、坂上田村麻呂の息子と伝えられる俊光將軍を祀った俊光將軍社跡、本坂通(姫街道)で現存する最も古い道標といわれている天保3年(1832年)建立の道標、大聖寺の小政の墓碑など普段あまり訪れない場所ばかりです。小政って、テレビや映画等でお馴染みの清水の次郎長の子分の



本坂通(姫街道)の道標



板屋町から移転した大聖寺にて参加者一同

小政のことで。伝承によると、新町の生まれとなっています。明治7年(1874年)に浜松監獄で獄中死し、当時板屋町にあった大聖寺に墓を建てたと伝えられています。大聖寺は昭和61年(1986年)に浜松市の都市計画事業のため現在地(幸4丁目)に全面移転しました。

今回のウォーキングも裏ウォーキングらしく、あまり訪れない所を巡り、いい勉強になりました。これからも浜松の隠れた史跡名所を巡って行きたいと思います。

西ブロック 山田利夫

10月31日(月)静岡第一テレビの“くぼチャンネル”取材班が犀ヶ崖資料館に。リポーター久保ひとみさん(浜松やらまいか大使)が鈴木会長に取材。12月2日(金)午後10時54分からの3分間の放送予定

10月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

3日 月	連合河北地区協議会	15名
4日 火	浜松市立西都台小学校	68名
5日 水	茨城県開智望小学校	90名
	山梨県南友会	10名
11日 火	浜松市立東小学校	59名
13日 木	グランドエキシブ浜名湖	4名
22日 土	浜松市立青少年の家	23名
24日 月	成友会	5名
29日 土	富士市市民安全課	46名

《犀ヶ崖資料館》

4日 火	浜松市立西都台小学校	66名
13日 木	浜松市立積志小学校	88名
20日 木	浜松市立犬居小学校	6名
21日 金	浜松学院大学	7名
25日 火	浜松市立追分小学校	22名

《浜松まつり会館》

3日 月	連合河北地区協議会	25名
17日 月	浜松市立中ノ町小学校	49名
19日 水	岳南法人会女性部会	28名
22日 土	まつり会館オータムフェスタ	3名

はままつ案内人会報 244号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946 浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)

TEL&FAX 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/



家康公ゆかりの地

はままつ案内人

検索